

## PET/CTについて

当院のPET/CTは平成26年3月の新病院開院と同時に稼動を開始しました。この2年間で検査件数は着実に増加しており（図1）、現在では1日9例の予約枠がすべて埋まることも珍しくありません。これは各臨床科の医師が院内でPET/CTが使える状態にあることに徐々に慣れていったことと、実際使用してみてPET/CTの診断能、有用性を実感されたことによると思われる。また他院からのPET/CT検査のご依頼もほぼ毎日いただいております。

癌をはじめとした悪性腫瘍においては糖の代謝が亢進していますが、PET/CT検査ではフルオロデオキシグルコース（FDG）という糖に類似した放射性薬品を静注し、それが病変に取り込まれるのを待ってFDGのもつ放射能を画像化し、悪性腫瘍を検出、診断しています（図2）。

図1

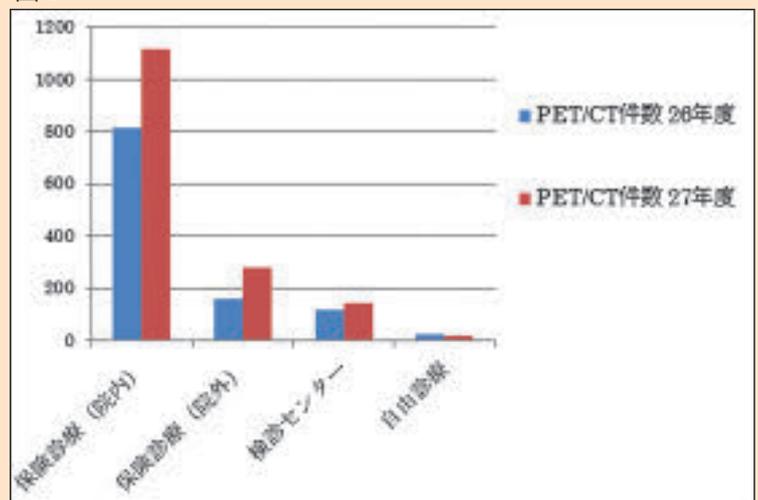
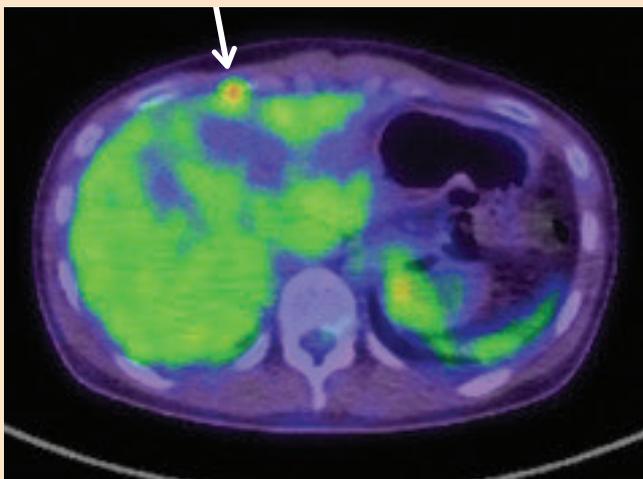


図2…卵巣癌症例：肝表面の微小な腹膜播種巣の検出（赤い部分）



PET/CT検査は保険診療の中で行われることが多いですが、保険適応としては早期胃癌を除く悪性腫瘍で、他の検査、画像診断により病期診断、転移、再発の診断ができない患者に施行できます。確定診断病名は必要ですが、要件としての「病理診断にて確定できない患者」という文言が2010年から消え、「臨床上高い蓋然性を持って悪性腫瘍と診断されれば」保険診療の中で算定可能となっています。転移・再発の診断では疑いでも行うことができます。当院の検診センターではPET/CT単独の癌検診も行なわれています。

料金については保険診療の場合、病院での支払いは3万円程度、自由診療、検診センターの場合10万円程度です。

当院のPET/CT検査の依頼方法ですが、病院

ホームページからは地域医療連携＞医療関係者向け＞PET-CT検査、あるいは検診センター＞PET-CT検診コースと進んでいただくことになります。電話での直接のお問い合わせも可能です（香川県立中央病院核医学検査室 087-802-1218）

今後も当院のPET/CTが香川県の人々のお役に立てるように、放射線科、放射線部のスタッフとともに努めて参りたいと思います。

臨床工学部 技師長 山下 和良

当院、臨床工学部には13名の臨床工学技士が所属しています。臨床工学技士は、人の呼吸・循環・代謝といったような生命の維持につながる機能を補助または代行する装置、すなわち「生命維持管理装置」の操作および保守管理を主な業務としています。当院での生命維持管理装置の具体例をあげますと人工呼吸器、人工心肺装置、補助循環装置、急性血液浄化装置、人工透析装置、ペースメーカーなどがあります。また自分達の操作する装置はもちろんのこと、院内にあるさまざまな医療機器に対しても保守点検業務を行なっています。さらに新病院からは、TAVI（経カテーテル大動脈弁植込術）業務及び手術支援ロボット（ダヴィンチ）業務のチームの一員として携わっています。

平均年齢が非常に若い集団ですが“志”はかなり高く、多種多様な分野で質の高い安全な医療を提供するため各学会、勉強会にも積極的に参加し、新しい知識・技術の習得を心がけています。また職場の合言葉でもある“共有しよう！知識、情報”を実践するため現場で起こったさまざまな事態を報告し合い、もしトラブルが起きたときにも迅速に対応できるように、常にコミュニケーションを図っています。業務体系は現在、日勤を基本とし夜間及び休日と呼び出し体制をとっており、いつでも対応が出来るようにしています。

我々は今後も、組織として多様性と専門性が同時に満たせるような体制を整え、常に“機械の先には患者さんがいる”ことを念頭に置き、機器の管理、操作、保守を行っていきたいと思っています。



## 中央NEWS

### 熊本地震 当院のDMAT活動報告

（救急部副看護師長 救急看護認定看護師 宮川 公伸）

DMAT（ディーマット）とは、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの時に現場で活動できる専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）のことです。

熊本、大分を中心に4月14日（前震）、4月16日午前1時25分（本震）に震度7の地震がありました。当院のDMATは、16日午前5時頃に香川県から派遣命令がありました。16日9時～18日に1隊目、20～23日に2隊目が熊本県に出動し、災害医療支援に行きました。被害状況は、場所によって、電気や水などのライフラインは使用できず、また土砂崩れで主要道路がふさがれ、支援物資が十分に届いていない状況でした。

私達は、山鹿市、阿蘇市などの避難所を回りました。血圧測定などを行いながら健康状態の把握を行いました。また、医療支援の要望などの情報収集を行い、ある母親が、乳児が入浴できないことに不安を抱いていたので、避難所の職員と入浴できるように相談などもしました。

災害はいつ起こるかわかりません。今後も私達は、医療者としてできること、そして、被災者の方が一日も早く日常生活を取り戻せるように災害支援を行っていこうと思います。



## 下肢の動脈疾患について

平成 23 年 4 月からお世話になっている、循環器内科の野坂 和正（のさか かずまさ）と申します。私は循環器内科の中でも主に血管疾患、狭心症・心筋梗塞・末梢血管の診療に従事しております。

食生活の欧米化ならびに高齢化により心疾患が増加していることはご存じのことかと思いますが、近年それに並んで大きな問題となっているのが末梢動脈疾患（PAD; Peripheral Artery Disease）です。主な症状は間欠性跛行であり、歩くと足がだるくなり、休まないと歩き続けることができないといったものです。重症になると歩行可能距離は短くなっていき、重症下肢虚血（CLI; Critical Limb Ischemia）といって壊死を起こし切断を余儀なくされる重篤な病態に至ることもあります。狭心症・心筋梗塞を患っている患者さんの約 1 割に合併しているという報告があり、決して珍しい疾患ではありません。自覚症状が何より大切ですが、下肢の動脈が触れにくい、下肢の色が悪い、下肢の血圧が低いことにより気づかれることもあります。

10 数年前までは動脈のバイパス手術が主な治療法でしたが、この分野におけるカテーテル治療も心臓同様進歩がめざましく、現在腸骨動脈領域においてはカテーテル治療が第一選択となっております。大腿・下腿領域においてもカテーテルの適応は広がっており、少ない侵襲で治療が可能となっております。しかしながら、症例によっては従来通りバイパス手術が望ましい場合もあるため、当院では循環器内科・心臓血管外科・整形外科・形成外科・皮膚科など多数の診療科で連携を取り、患者さんごとに最適な治療を提供しております。

歩くと足がだるくなって困っておられる方、下肢の傷がなかなか治らない方などおられましたらお気軽にご相談頂けると幸いです。



## 中央NEWS

### ホット外来をはじめました

（慢性呼吸器疾患看護認定看護師 主任 齊藤 瑞恵）



はじめまして、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の齊藤瑞恵です。慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、安定期、増悪期、終末期における慢性呼吸器疾患の患者さんとその家族のQOL向上に向けて水準の高い看護を提供することを主な役割としています。

今年の 1 月から呼吸器外科手術後の在宅酸素療法を必要としている患者さんに対して、週に一度外来で面談をさせて頂いています。患者さんの中には機械を使いながら生活をするのに対して、不便さや戸惑い、不安を感じている方が少なくありません。そういった患者さんに対して、在宅での過ごし方や機器の取り扱い、在宅酸素療法の思いについて話を伺い、その患者さんに応じたアドバイスを行っています。また、COPDや間質性肺炎の既往を持つ患者さんに対しては、HOT日誌を使い自己管理を行ってもらっています。

外来での看護師の役割は、日常生活の中で行える呼吸リハビリテーションや感染予防など、セルフマネジメント能力の維持・向上を目指し、最期までその人らしい生活が送れるように支えていくことだと考えています。ホットと過ごせるように。

～安心・安全・安定・  
信頼・思いやり・感謝を  
モットーとして～

## 放射線部の仕事

放射線部 技師長 馬場 敏

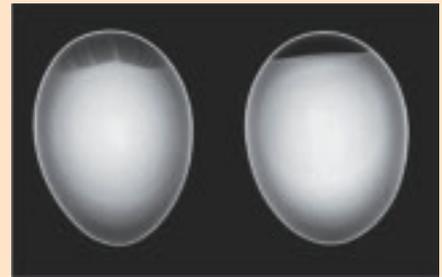
人体を傷つけずに人体内部の様子を知る手段として1895年レントゲン博士によるX線の発見は、人類に計り知れない利益をもたらしてくれています。X線発見からわずか120年、科学技術の大幅な進歩により放射線を利用した様々な医療装置が開発され、病気の早期発見・治療等に重要な役割を果たしています。

当院放射線部の主な仕事は、①X線を人体に照射し様々な体内情報を目に見える画像として提供するX線撮影・透視検査・CT検査、②検査目的で人体に取り込まれた放射性同位元素の分布を画像として提供する核医学検査（PET・シンチグラム）、③X線による血管造影画像をリアルタイムに駆使しておこなう血管内治療、④放射線を使用せず強力な磁力と電波を利用して検査をおこなうMRI検査、⑤検査だけではなく悪性腫瘍に治療目的で高エネルギー放射線を精度よく照射するなどを行っています。

放射線に関する最新の知識と技術を取得した診療放射線技師が、これらの装置を駆使し医療チームのスタッフと協力しながら患者さん中心の医療を安心・安全・安定・信頼・思いやり・感謝をモットーとして実践できるように努力しています。

（おまけ）卵のX線画像です。どちらが「ゆで卵」でしょうか？

（答え）右



## 中央NEWS

# 家族性乳がん外来開設に向けて

（乳腺・内分泌外科 部長 川崎 賢祐）

### 家族性乳がんについて

乳がんは女性の癌として罹患率が最も高く、近年でもその数は増加傾向にあり、その患者数は年間約65000人、乳癌による死亡者は年間約13000人に及んでいます。その多くは特に原因の無い散発性ですが、罹患総数の約10～15%が家族歴を有し家族集積性のある「家族性乳がん」です。「家族性乳がん」のうち多くは複数の因子による多因子遺伝疾患と言われていますが、特定の遺伝子変異が原因となる「遺伝性乳がん」が存在し、その大部分を占めるのが「遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（Hereditary Breast and Ovarian Cancer: HBOC）」という疾患で全乳がん患者の約5%を占めています。

HBOC患者はBRCA1/2遺伝子に変異を持ち、乳癌、卵巣癌などに罹患しやすく、2分の1の確率で子供に同じ変異を伝える可能性があります。BRCA1/2遺伝子に変異の無い場合の生涯罹患リスクは、乳癌で約7%、卵巣癌で約1%ですが、変異がある場合は乳癌で40～66%、卵巣癌で10～50%と非常に高率となり、HBOCを的確に診断し高リスク患者を把握した上で、適切なサーベイランス（早期発見を目指した検診など）を行うことが非常に重要とされています。

### 当院での取り組み

高リスク患者を対象とした「家族性乳がん外来」を、2016年春をめどに開設する予定で準備を進めてきました。遺伝子検査体制構築だけでなく、遺伝情報を扱う特殊な電子カルテシステムの準備、約1年にわたる多職種参加の院内勉強会、サーベイランス体制の準備などを行ってきました。

### 家族性乳がん外来診療内容

- ・乳癌家族歴が疑われる患者の精査（病歴、家族歴の詳細な聴取）
- ・遺伝カウンセリング（家族性乳がんに関する情報提供、遺伝子検査の説明）
- ・遺伝子検査の実施、結果説明
- ・HBOC患者に対する適切な対応（早期発見を目指した検診などのサーベイランス）
- ・（当院への家族性乳がんに関する問い合わせや相談に対する対応）

家族性乳がん外来は自費診療となります。BRCA1/2遺伝子検査は現時点で保険適用外であり、発端者（最初に疑われた人）の検査で約20万円、HBOC患者の血縁者用検査で約3万円と高額です。

しかし、先日HBOC患者であることを公表した米女優などの影響もあり、国民、地域住民においては「家族性乳がん」「遺伝性乳がん」に対する関心が強くなっています。適切かつ細やかな対応は、医学的な見地からの必要性に加え、これらのニーズに応えるために必要であると考え当院での準備を進めてきました。

まずは当院にて乳癌と診断され診療を受けた患者様のうち濃厚な家族歴を有する方からリスク評価を始め、今後は院外からの問い合わせや紹介に対応していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



転入

4月1日付



岡本 邦男  
消化器内科／腫瘍内科

- ①近畿大学
- ②平成17年
- ③旅行
- ④地域の癌診療に貢献できるように努力していきたいと思ひます。



木村 友香  
糖尿病内科／総合診療科

- ①東京女子医科大学
- ②平成22年
- ④地域の皆様に貢献できるように頑張つてまいりますので、よろしくお願ひ致します。



高宮 資宜  
神経内科

- ①広島大学
- ②平成17年
- ③家族旅行、読書
- ④わかりやすく丁寧な診療を心掛けて頑張ります。



高橋 正彦  
循環器内科

- ①杏林大学
- ②平成14年
- ③ランニング
- ④高いレベルでバランスのとれた医療を心がけたいと思ひます。



鵜川 聡子  
循環器内科

- ①香川医科大学
- ②平成17年
- ③ベランダガーデニング
- ④皆様のお役に立てるよう頑張ります。何卒よろしくお願ひいたします。



植本 一駿  
消化器・一般外科

- ①香川大学
- ②平成26年
- ③野球の投手の配球当て、麻雀
- ④周囲の方々について行けるように精一杯努力していかうと思ひます。



生熊 久敬  
整形外科

- ①関西医科大学
- ②平成8年
- ④4月から整形外科に赴任しました。脊椎外科を専門に担当させていただきますので、宜しくお願い申し上げます。



井上 智雄  
整形外科

- ①高知大学
- ②平成18年
- ③旅行
- ④香川県の皆様のお役に立てるよう、頑張ります。よろしくお願ひ致します。



井上 洋一  
整形外科

- ①川崎医科大学
- ②平成23年
- ③ランニング、登山
- ④まだまだ未熟ですが頑張りますのでよろしくお願ひします。



廣瀬 一樹  
整形外科

- ①川崎医科大学 ②平成26年
- ③サッカー、サーフィン、酒
- ④1つでも多くの手技、手術を会得するように頑張ります。救急も興味がありますので、当直中も積極的に動けるようにします。



田中 茂登  
眼科

- ①関西医科大学
- ②平成10年
- ④地域医療に貢献できる様がんばりたいと思ひます。よろしくお願ひします。



小山 雄太  
眼科

- ①近畿大学
- ②平成24年
- ③バドミントン
- ④精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。



三浦 佑樹  
形成外科

- ①産業医科大学 ②平成22年
- ③買い物、写真
- ④患者さんに寄り添った治療が出来るように頑張つていきます。よろしくお願ひ致します。



大岩 雅彦  
麻酔科

- ①大阪医科大学 ②平成23年
- ③子育て
- ④初めての香川での勤務になります。精一杯がんばろうと思ひます。よろしくお願ひします。



高橋 裕明  
麻酔科

- ①岡山大学
- ②平成25年
- ④まだまだできないことも多いと思ひますが、日々頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。



松本 憲一  
歯科・口腔外科

- ①岡山大学
- ②平成23年
- ③フットサル
- ④地域医療に貢献できるように頑張っていきたいと思いをします。よろしくお願いします。



井上 智博  
研修医

- ①岡山大学 ②平成28年
- ③野球、ゴルフ
- ④医師としてお役に立てるよう日々努力して、できることを増やしていきたいと思いをします。



植田 昌敬  
研修医

- ①岡山大学 ②平成28年
- ③水泳、ランニング
- ④日々楽しむことを忘れず、積極的に勉学に励みたいと思いをします。宜しくお願い致します。



大平 純也  
研修医

- ①岡山大学
- ②平成28年
- ③ゲーム、読書、自転車
- ④立派な医師になれるように頑張ります。立派なヒトになれるように頑張ります。



奥田 龍一郎  
研修医

- ①岡山大学
- ②平成28年
- ③テニス
- ④常に前向きでがんばります。よろしくお願いします。



劔持 直也  
研修医

- ①香川大学
- ②平成28年
- ③ドラム
- ④日々勉強して、早く一人前の医師になれるよう頑張ります。



コルビン 真梨子  
研修医

- ①ダンディー大学 ②平成23年
- ③旅行、絵画、書道
- ④1日1日を大切に、多くのことを身につけていきたいと思いをします。どうぞよろしくをお願いします。



白川 拓  
研修医

- ①岡山大学
- ②平成28年
- ③ゲーム
- ④医師としての経験はもちろんのこと、優しい医者になりたいと思っております。



竹内 雄亮  
研修医

- ①産業医科大学
- ②平成28年
- ③散歩
- ④小さなことからコツコツと日々成長していけるよう頑張りたいと思いをします。



田村 瑤子  
研修医

- ①福岡大学 ②平成28年
- ③バレーボール
- ④早く一人前になれるよう、日々努力したいと思いをします。ご指導よろしくお願いします。



重信 有希  
研修医

- ①自治医科大学 ②平成28年
- ③おかしを食べること
- ④分からないことばかりですが、はやく戦力になれるように努力したいです。よろしくお願いします。



谷 勇輝  
研修医

- ①自治医科大学
- ②平成28年
- ③運動、料理
- ④日々勉強に励み、少しでも早く頼られる医師になれるよう頑張ります。



長谷川 恵梨  
研修医

- ①香川大学 ②平成28年
- ③食べること
- ④医師としての礎を築くべく、しっかり勉強するのはもちろんのこと、社会人としても成長できる1年にします。



坂井田 京佑  
研修医

- ①九州歯科大学
- ②平成28年
- ③水泳、野球
- ④一所懸命頑張ります。ご指導よろしくお願いします。

